

上海鳳凰城

上海中心部から約18kmの大規模な近郊民間分譲住宅地開発(約20ha)である。大規模平坦な敷地での大半が4階建住棟による開発となったため、住宅地に単調さを避けた変化と魅力を与える配置計画、現地の他物件との競争に勝つための新たな計画、デザインの提案を行っている。

6階まで階段室型アクセスが一般的な中で、今後の高齢化に留意して、4階建中心とし、6階建以上にはエレベーターを設置する計画としている。住棟は中層板状、南北軸プロムナード住棟、高層ポイント、高層板状(数は限定的に配置)といった多様な住棟タイプを計画し配置している。緑地軸やプロムナード軸等による明解な空間構造、環境構造を導入した。都市的ゾーンと郊外的ゾーンの区分、ポイント棟や7階建て住棟の効果的配置等により、住宅地に豊かな変化と多様性を与え、屋外の動線選択の多様性、用途(空間利用面)の多様性にも配慮している。

所在地	上海市
発注者	上海好世地業有限公司
敷地面積	約20ha
用途	住宅、商業施設
構造・規模	RC造・地上4~9階、地下1階
延べ床面積	291,540㎡
竣工年	中国人居建築計画方案コンペ総合大賞